

① 新居浜市の取組

ア 平成 24 年度の緊急合同点検及びその後の対策状況等

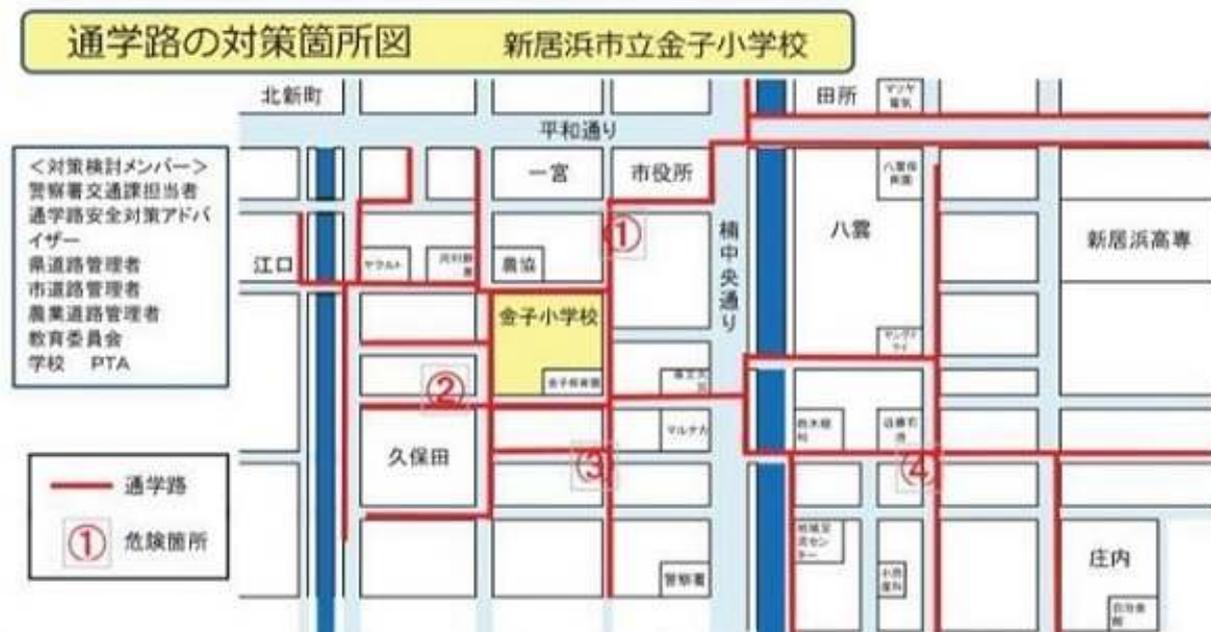
- 小学校 17 校から 62 箇所の対策必要箇所が挙げられ、平成 25 年 4 月時点で、うち 43 箇所については対策済み
- 19 箇所については、対策が完了しなかったため、児童への交通安全指導やボランティア等による立ち番などで対応

イ 平成 25 年度 of 取組の経過

- 新たに 56 箇所の危険箇所が判明
- 7 月 16 日、第 1 回新居浜市通学路安全対策連絡協議会を開催
- 7 月 23 日から 8 月 6 日の 10 日間、通学路安全対策アドバイザーと関係機関による危険箇所の合同点検を実施
- 点検の結果から分類
 - ・ ドライバーへの対応が必要な箇所が 5 箇所
 - ・ 警察の対応が必要な箇所が 13 箇所
 - ・ そして学校・道路管理者の対応が必用な箇所が 38 箇所
- 10 月から 11 月上旬にかけて、5 校のモデル校へ通学路安全対策アドバイザーを派遣
- 12 月 20 日に第 2 回新居浜市通学路安全対策連絡協議会を開催
 - ・ 対策状況と今後の予定を確認し、今後も関係機関等との更なる連携が必要であることを再確認

ウ 具体的な活動内容

- 通学路対策箇所図の例



①



＜状況＞道が狭く、見通しが悪い。

＜対策メニュー＞通学路の変更が可能になるまで、児童への指導やPTAの立ち番で対応。

②



＜状況＞道路縁に大きな溝があり児童が落下する危険がある。

＜対策メニュー＞蓋かけは土地改良区の同意を得られにくいので、南側にグリーンベルトの舗装を検討。

③



＜状況＞横断歩道や信号がないのに交通量が多く、よく事故が起きている。

＜対策メニュー＞交差点を示すカラー舗装を発注済み。

④



＜状況＞道が狭く、車もよく通る。

＜対策メニュー＞時間制限を7:30～8:30から7:00～8:00への変更を検討。

●通学路安全対策アドバイザーの活動状況及び報告書例

学校名	新居浜市立金子小学校	アドバイザー氏名	佐々木 延之
記載者氏名	岡田 敏樹	実施日時	平成 25 年 10 月 28 日 (月)
実施内容	場所	登校の様子で気づいたこと	
	①庄内町一丁目 7 近藤石油から東に向けての道	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が交差点で信号待ちするための場所が狭い。 ・南から交差点に向かう児童が白線から道路にはみ出ていることがある。 	
指導助言の内容	②一宮町 11 金子小学校正門から東に行くところある三叉路の道の北側	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所前の道路を横断する児童が斜めに横断している。 ・今日は保護者の見守り当番がなかった。(各家庭年間 4 回の見守り当番のため、カバーできない日がある。) 	
	③庄内町一丁目 7	<ul style="list-style-type: none"> ・交差点で信号待ちするときは、小さく固まるように指導する。 ・白線から道路の中心にはみ出ないように、1 列で歩くことを徹底させる。 ・「この電柱の所では、班長が後ろを向いて班の子どもたちを安全に通らせるようにする」など、現場で班長に具体的な指導を行うとよい。 	
	④その他	<ul style="list-style-type: none"> ・通学班長会で班長を指導するときは、具体的で分かりやすい指導をしてほしい。基準を決めて指導がぶれないように。 ・低・中・高学年別に交通安全教室を開くなど、外部人材を積極的に活用してほしい。 	



●平成 25 年度の通学路対策箇所の対策状況例

整理番号	34	学校名	新居浜市立泉川小学校	対策所在地	東田えびす市から東に向けての三差路
対策前		対策後			
					
<p>抜け道として車通りが多くスピードも出ている</p>		<p>時間帯通行規制（7時～8時）の看板設置</p>			

エ 成果と課題

* 成果

通学路の安全に関して、児童への指導や関係機関等との連携による体制整備がより一層図られ、通学路安全対策アドバイザーによる専門的な見地からの指導助言により、危険箇所の具体的な対策の検討や立案が効果的に図ることができました。

* 課題

一方、通学路の安全対策を進めていく中で、ハード面の対策を講じるための金銭面での問題があり、対策のための予算確保が課題として残りました。